センターが行っている人材育成のご紹介（一例）



企業向けのデジタル出前講座：
Jw_cad 習得初級編講座、3D プリンターのお試し利用、DX 推進に向けたデジトレ診断等を実施。



まつもと５Ｓプロジェクト：
５Ｓは安全、利益創出、人材育成の基本中の基本。定期的にセミナー開催。



子ども向けプログラミング教室：
将来世代の ICT 教育として、小学校高学年～中学生を対象としたプログラミング体験教室を実施。

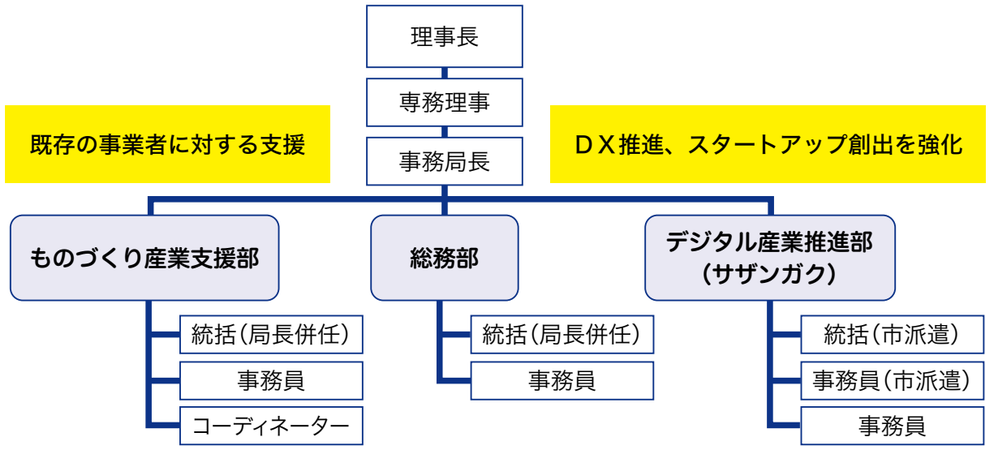


まつもとデジタルギルド：
学校の枠を超えて若者のデジタル領域の挑戦を支援するプラットフォーム。



MISO STUDIO：
オリジナルゲームを作るワークショップを実施。楽しみながら未来を創る思考力を養えるプログラム。

新しい組織体制



お問い合わせ・連絡先

一般財団法人
まつもと産業イノベーションセンター
〒 390-1242 松本市和田４０１０－２７
ＴＥＬ：０２６３－４０―１０００
ＦＡＸ：０２６３－４０－１００１
E-mail：info@m-isc.jp
ＵＲＬ：https://www.m-isc.jp

サザンガク
〒390-0874 松本市大手 3-3-9
NTT 東日本 松本大名町ビル 1F
ＴＥＬ：０２６３－３３－０３３９
ＦＡＸ：０２６３－３３－０３０５
E-mail：info@33gaku.jp
ＵＲＬ：https://33gaku.jp

発行日：2026 年 10 月 作成

（一財）まつもと産業イノベーションセンター

NEWS 臨時号

ものづくり支援から地域産業のイノベーション共創へ









～松本の産業イノベーションを加速～

デジタルシティ松本の実現を 産業面から牽引していきます

当センターは、2026 年 8 月 1 日付けで、「一般財団法人松本ものづくり産業支援センター」から、「一般財団法人まつもと産業イノベーションセンター」に名称を変更し、事業領域を、ものづくり支援から、地域産業のイノベーション推進へと拡大しました。特に、当センターが運営する「サザンガク（33GAKU）」では、引き続き地域の共創のハブとしての機能を持ちつつ、デジタルシティ松本の推進、スタートアップ推進を強力に進めていきます。新体制の核となる「サザンガク」の進化 / 深化を図り、地域全体でイノベーションを共創する循環システムを構築していきます。

デジタル産業推進部（サザンガク）

1．サザンガクの役割と経過

サザンガクは、これまでのテレワークやコミュニティの場として機能に加え、新体制においては、松本の持つ潜在力を最大限に引き出し、地域全体の活性化を目指すため、共創、イノベーションのハブとしての役割を担っていきます。

2019 年～
ICT 拠点施設
・「場所に捉われない働き方」の実現を推進
・個人事業主、クリエイター、学生等の多様な人の交流促進

↓

2026 年 8 月～
【新・サザンガク】
人とアイデアを繋ぎ、共創、イノベーションのハブへ

有機的連携

2．サザンガクが持つ３つの拠点機能

サテライトオフィス



複数人数でご利用いただける「オフィス区画」と、起業家など個人でご利用いただける「個人ブース」があります。

コワーキングスペース





仕事やイベントの開催ができる他、他の利用者とのネットワークや新しいアイデアが生まれる共創スペースです。

テレワークオフィス



無料託児ルーム完備で、子育て中のワーカーでも働けるオフィスです。

ものづくり産業支援部（まつもと情報創造館）

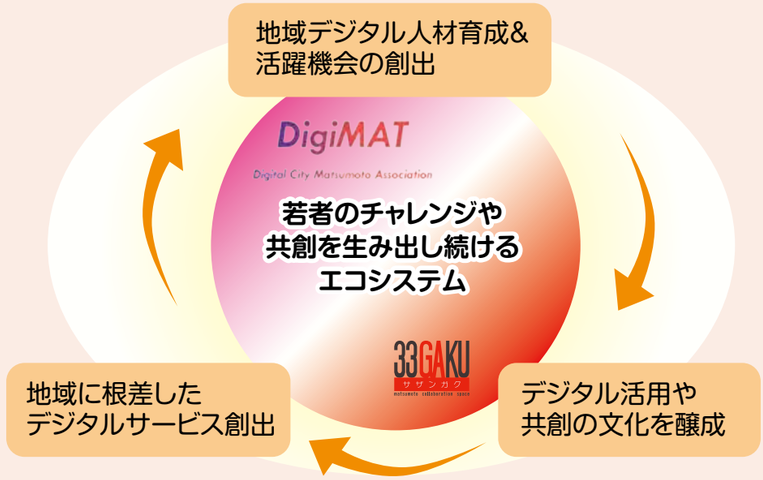
【統合的な支援プログラムのスタート】
・現場改善→見える化 / データ化
　→ IT 活用→自動化省力化をスパイラルアップ
・地域企業が継続的にお互い学び合う場づくり
・ものづくり支援と ICT 支援のチーム一体運営で相乗効果発揮



【センター内の連携強化】
・デジタル産業推進とものづくり産業支援の連携、交流機会の促進
・各スタッフの専門領域の掛け算によるイベント実施

3．重点施策の推進

【デジタルシティ松本推進機構（DigiMAT）の取組との融合】



▶ DigiMAT 会員によるデジタルプロジェクトの実行に対する補助

▶若者のデジタル領域の挑戦を応援するプラットフォーム「まつもとデジタルギルド」の運営　等

DigiMAT の詳細はこちら

【スタートアップ推進、起業・創業支援】
・松本市主催「スタートアップ推進事業」との連携
・信州スタートアップステーション、よろず支援拠点等と連携したスタートアップ支援